

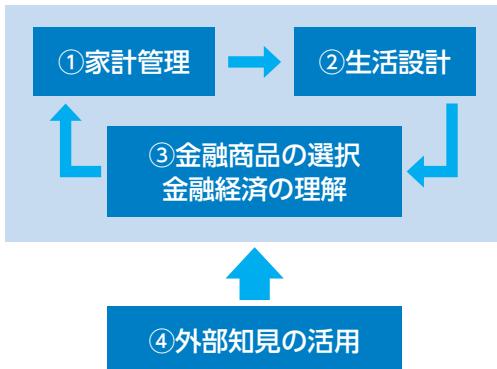
みを継続・拡充していくことで、政府の掲げた目標である「2028年度末を目指すに金融経済教育を受けたと認識している人の割合を米国並みの20%となることを目指す」の達成に向け、J-FLECが一翼を担い、また多くのステークホルダーと連携していきます。

資産形成を考えていく際のポイント

金融リテラシーを高め、より良い生活を実現していくためには、単に知識を得るにとどまらず、その知識を適切な判断や行動に結びつけることが重要です。最近はSNSなどを中心に金融や経済に関する様々な情報が溢れしており、資産形成に関しても多くの手法を簡単に試せるようになっています。その中には適切とは言えないものも多く含まれているのが実情ですので、正しい情報を見極めるための判断力を身に付けるために「金融に関する基礎知識」を十分に学んでいただきたないと考えています。

特に、「家計管理」「生活設計」「金融商品の選択、金融経済の理解」のサイクルを通じて、総合的に金融リテラシーを高めるとともに、個人としての学びだけではカバーしきれないテーマについては「外部知見の活用」としてプロのアドバイスをうまく活用してください。【図】

図 金融リテラシー向上のサイクル



「お金に関する漠然とした不安」を誰に相談したらいいかわからず一人で悩んでいる方も多いです。アドバイスを受け、不安が解消され将来の見通しが明るくなり、個人の金融行動が変わっていくことで、金融面の幸福（いわゆるファイナンシャル・ウェルビーイング）の実現につながります。

また、実際に資産形成を始める際には、以下の点に留意してください。

- ・日々の生活資金ではなく、『余裕資金』を活用すること』
- ・投資の王道と言われる『長期・積立・分散投資の意識を持つこと』
- ・商品選択の際は『安全性・収益性・流動性を考慮すること』

当たり前ですが、投資は自己責任で

健康寿命と資産寿命のバランス

長い人生において、お金に関する悩みは幅広く、家計管理や資産形成、保険、ローン、税金、年金など多岐にわたります。また、ライフステージによつても変化します。人生100年時代を豊かに過ごすためには、心身ともに健康である「健康寿命」と、老後の生活を維持できるための「資産寿命」の両方を延ばすことが理想です。お金に関する学びの機会は、若い方に限った話ではなく、退職やセカンドライフを迎える、あるいは迎えた方についても、改めて学び直す機会を

す。株価・為替などは様々な環境変化を受けて、常に変化をしています。最近では諸外国の影響を受けて株式市場は乱高下を繰り返していますが、短期的に下がつていたとしても、10年・20年単位の長期目線で見ると総じて世界の株価は上昇傾向です。また、下がる銘柄があれば、逆に上がる銘柄もあります。専門的知識を有しているプロの運用者でも個別銘柄の株価がどのように動くのか全てを見通すことは至難の業です。そのため、ご自身のリスク許容度に応じた運用手法・銘柄選択により、将来的に目標とする資産・金額に到達できるよう長期目線での運用を心掛けることが重要となります。

最後に

J-FLECでは、昨今の金融トラブル・投資詐欺防止に関する教育は勿論のこと、より楽しく充実した人生を謳歌するための「お金に関する様々な学びの機会」を提供しています。実際に活動を始めてみて、あらためて金融経済教育の不足が日本における大きな社会的課題のひとつであり、また金融経済教育の推進に対する小学生からシニア層に至る全世代からのニーズが極めて高いことを実感しました。そして、J-FLECが提供する「学びの機会」を利用していたいただいた方々のアンケートを見ると高い評価をいただいており、理事長としてJ-FLECの価値に十分な手応えを感じています。

特に12か月間フルに稼働する2025年度は積極的な広報活動によりJ-FLECの知名度を向上しつつ、役職員一丸となって参る所存です。誰一人取り残すことなく教育機会を提供し、皆さんの意識・行動変容にまで繋げていくことを目標に邁進していきますので、是非今後ともJ-FLECの活動にご期待ください。

持っていたいと考へています。